



元気になり本会議場であります山崎区長

正副議長などを改選

議長瀧澤良仁氏
副議長田中左内氏

第十二回定例会は、東京者請議會開會の日、開會の十日には、区長、助役と出席のもとに、自民党、公明党、ら答弁共産党各一名の議員が区政一般、続いたて質問し、これに対しても、税条例議員が一般質問を行つたほか、報告して開きました。この定例会では、一

議員七件、
議題原稿一編、附文書二件を
議決しました。また、任期が満了した常任
委員会委員の選任と特別委員会委員の一部
入れかえ、議長、副議長が辞任したことによ
伴う後任の議長、副議長選挙を行いました。

その後、一年の任期が満了した。常任委員会の選任は、四つの常任委員会の委員を選任し、また、四つの特別委員会も一部委員の入れかえを行いました。本会議はそこでいったん休憩し、常任委員会、特別委員会を開会して委員長、副委員長を選出しました。

田中左内議員を選びました。

さらに、「非核三原則の堅持」と核に対する国民の疑惑と不安に関する意見書」と「郵便貯金現行制度の存続に関する意見書」を議決しました。

最後に山崎区長からいさつござつた。

青木 良平	柴田 昌男	区議会にある五つの特別委員会のうち、今回四つの特別委員会で一部の委員が交代しました。
梶 黙	沖山 満	また、副委員長も一部交代が
山崎 政吾	青山 政雄	あり、これによって委員長・副委員長は次のようになりました。
○足達 寿一	○小早川恵子	○委員長・○副委員長
初沢 英夫	原田 裕	防災対策特別委員会
武ノ内賀次郎	田中 左内	○沖山 満 ○青山 政雄
滝澤 良仁	吉田 武三郎	交通対策特別委員会
森下 三三人 員		

についての報告があり、起立多数で報告のとおり承認しました。また、墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例など議案七件を議題にし、それぞれについて助役から提案理由の説明があった後、担当の各常任委員会に審査を付託しました。

さらに、区民のみなさんから区議会に提出された請願三件、陳情二件についても、それぞれ担当の常任委員会に審査を付託し、委員会審査のため、本会議は十一日から二十九日まで休会に入りました。

新しい常任委員長も一部交代——特別副委員長も一部交代——この定例会の最終日（六月三日）の本会議で、常任委員会委員が交代しました。これは、一年と決められていて任期が満了したことに伴い改めたものです。

新しい常任委員会委員の氏名は次
委員長、副委員長の氏名は次

島村	福藏	○西田
村瀬	政幸	○西田
原	正義	○西田
柴田	石橋	○西田
甚野		○西田

（◎委員長　○副委員長　□総務委員会（十名））

新しい常任委員決まり

議決した意見書（要旨）		建設委員会（十名）		厚生文教委員会（十名）		都市開発特別委員会	
◎足達	寿一	○小早川恵子	○原田裕	○矢口甲子夫	○島村福蔵	○槐	○沖山満
初沢	英夫	○森下三七人	○田中左内	○西恭三郎	○公害緑化対策特別委員会	○渡辺良	○柴田来治
武ノ内啓次郎	森下三七人	○吉田武三郎	○吉田武三郎	○大和久常雄	○大和久常雄	○樋口丈夫	○桑名梅佐久
瀧澤	良仁	○欠員	○吉田武三郎	○交通対策特別委員会	○交通対策特別委員会	○樋口丈夫	○吉田武三郎
桑名梅佐久	桑名梅佐久	○加藤耕造	○矢口甲子夫	○樋口丈夫	○樋口丈夫	○槐	○槐
樋口丈夫	丈夫	○佐藤四郎	○佐藤四郎	○福井	○福井	○沖山満	○青山政雄
湯本令二	湯本令二	○小池静雄	○大和久常雄	○来治	○来治	○青山政雄	○昌男
並木保雄	並木保雄	○並木保雄	○並木保雄	○森下三七人	○森下三七人	○吉田武三郎	○吉田武三郎
桑名梅佐久	桑名梅佐久	○樋口丈夫	○樋口丈夫	○吉田武三郎	○吉田武三郎	○吉田武三郎	○吉田武三郎

議決した意見書（要旨）

私は、このたび六月三十日の本会議において、同僚議員のご推举をいただいて、区議会議長の要職を務めさせていただくことになりました。

まことに身に余る光栄と感激すると共に、その責任の重さを痛感して、身の引き締りをいたしております。

最近の新聞の社会面には、連日、非行事件や暴力行為など多発しています。この現状に対する社会的懸念が、このたびの選挙結果に反映されたと言えます。

東京という大都会から、人の心のふれあいが無くなつたといわれて久しい中で、それでも、わが墨田区には、近隣の連帯意識や、古くからの下町人情が残っていますし、区も、そうした伝統を大切にする行政を進めていきたいと思います。

田区基本構想」がめざしてい

る「人と緑と産業の調和した安全、快適、豊かなまち」墨田区をつくるために、そして明日の世代によりよい墨田区をつくるために、その一層の努力をいたす所存でございます。

どうか、これからも、区議会に対するご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

非核三原則の堅持と核に対する国民の疑惑と不安の解消に関する意見書

国会を中心に核の持込み問題非核三原則に対する論議が展開されたが、これらに対する国民の疑惑と不安は、解消されていない。これは、我が国が世界唯一の核爆発国として、恒久の平和を念願する国民感情の中に、核兵器に対する不安が存在することの表われである。

政府がこれらを考慮して、積極的な努力を払うよう要望する。

内閣総理大臣、外務大臣あて郵便貯金現行制度の存続に
関する意見書

簡易で安全確実な少額貯蓄の手段として、多くの国民に利用されているが、郵便貯金制度は、投融資資金は、地方自治体の財政運営に重要な役割りを果している。また、郵便貯金の金利決定方式は、預金者の利益を保護してきたといわれている。

これを度外視して、貯蓄手段の制限を導入することは、個人の預金者に大きな影響を与える。よって、政府がこれを検討するにあたって、現行制度を存続するよう要望する。

内閣総理大臣、大蔵大臣、郵政

第2回定例会

会議開会状況



丸井進出と区内商業の共存共栄策は商店街の体质強化や育成にも努力を

丸井進出と区内商業の共存共栄策は

商店街の体质強化や育成にも努力を

区内の中心地、墨東地区の繁華街として栄えた錦糸町が、社会情勢の変化によって衰退し、区内の商業にも影響を与えて、区の活気が失なれる原因にな

つている。これを以前のよう

に、自由民主党の回答。

答 丸井の進出によって広域的な集客力を期待しているが、青

年層に多くの顧客を持つて、点も錦糸町に若い人呼びよせるためには有効だ。影響は、ス

ーバーや他の大型百貨店より少

ないとと思うが、業種によっては予想されるので、業種団体や商

同で、「区立産業会館」を建設

するわけだが、丸井の進出によ

つて、区内の中小専門店が影響を受けることも事実だ。そし

た商店

専門店の経営強化策と

共存共栄の対策についてどう考

えているのか。また、「区立産

業会館」の名称を親しみやすい

ものにする考えはないか。

ものにする考えはないか。